

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【公開番号】特開 2019-166027 (P2019-166027A)  
 【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-040  
 【出願番号】特願 2018-56053 (P2018-56053)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 17 日 (2019.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、特定表示結果が導出表示された場合に遊技者に所定の遊技価値を付与する特定状態に制御可能な遊技機であって、

前記特定状態を含む複数の遊技状態のいずれかに制御可能な状態制御手段と、  
 付与された遊技価値に関する表示が可能な表示手段と、を備え、

前記状態制御手段は、

前記特定表示結果と異なる所定表示結果が導出表示された場合に、前記特定状態よりも少ない前記遊技価値を付与可能な所定状態に制御可能であり、

前記特定状態に制御されたことに基づいて、前記所定状態に制御される頻度が通常状態よりも高い特別状態に制御可能であり、

前記表示手段は、前記特定状態中に付与された前記遊技価値を示す表示と、前記特別状態中に付与された前記遊技価値を示す表示と、を別々に表示可能であり、さらに前記特別状態に制御される前の前記特定状態で付与された前記遊技価値を示す表示を遊技価値履歴画像として表示可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 A の遊技機は、識別情報の可変表示を行い、特定表示結果が導出表示された場合に遊技者に所定の遊技価値を付与する特定状態に制御可能な遊技機であって、

前記特定状態を含む複数の遊技状態のいずれかに制御可能な状態制御手段と、  
 付与された遊技価値に関する表示が可能な表示手段と、を備え、

前記状態制御手段は、

前記特定表示結果と異なる所定表示結果が導出表示された場合に、前記特定状態よりも少ない前記遊技価値を付与可能な所定状態に制御可能であり、

前記特定状態に制御されたことに基づいて、前記所定状態に制御される頻度が通常状

態よりも高い特別状態に制御可能であり、

前記表示手段は、前記特定状態中に付与された前記遊技価値を示す表示と、前記特別状態中に付与された前記遊技価値を示す表示と、を別々に表示可能であり、さらに前記特別状態に制御される前の前記特定状態で付与された前記遊技価値を示す表示を遊技価値履歴画像として表示可能である、

ことを特徴とする。

さらに、手段１の遊技機は、識別情報（例えば、特別図柄、飾り図柄、背景図柄）の可変表示を行い、特定表示結果（例えば大当り表示結果）が導出表示されたときに遊技者に所定の遊技価値を付与する特定状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機１）であって、

前記特定状態を含む複数の遊技状態のいずれかに制御可能な状態制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０）と、

付与された遊技価値（例えば、賞球）に関する表示が可能な表示手段（例えば、演出表示装置９）とを備え、

前記状態制御手段は、

前記特定表示結果とは異なる所定表示結果（例えば、小当り表示結果）が導出表示されたときに、前記特定状態よりも少ない前記遊技価値を付与可能な所定状態（例えば、小当り遊技状態）に制御可能であり、

前記特定状態に制御されたことに基づいて、前記所定状態に制御される頻度が通常状態よりも高い特別状態（例えば、第２ＫＴ状態）に制御可能であり、

前記表示手段は、前記特定状態中に付与された前記遊技価値を示す表示と、前記特別状態中に付与された前記遊技価値を示す表示とを別々に表示可能である（例えば、図３８（Ｃ）に示すように、大当り遊技状態で付与された賞球と、第２ＫＴ状態中に付与された賞球とを別々の履歴アイコン画像１５８Ｆ００２および小当り履歴アイコン画像１５８Ｆ００５として表示可能である）。